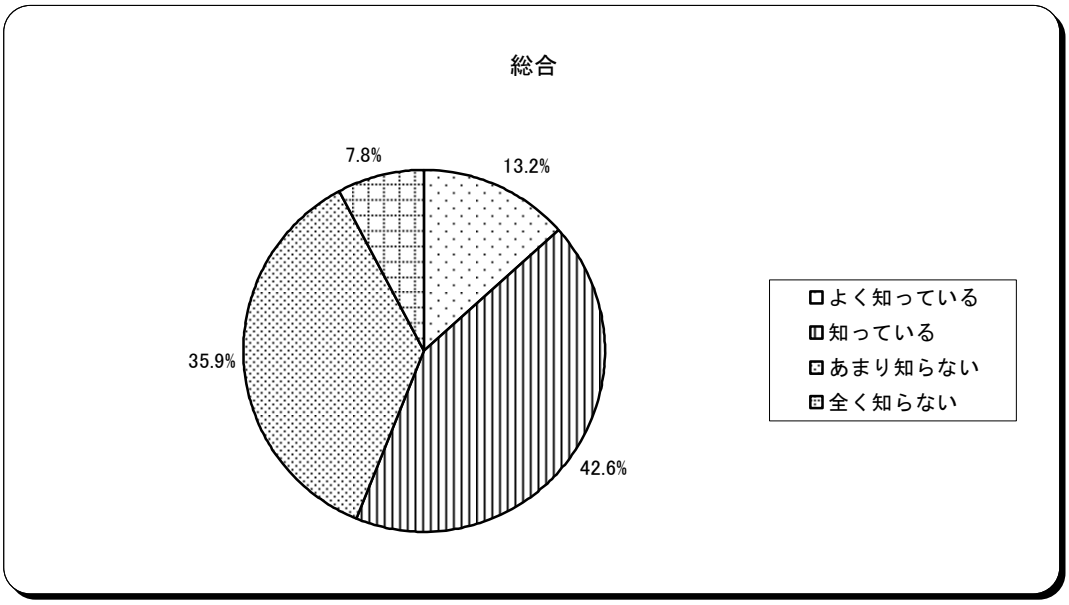
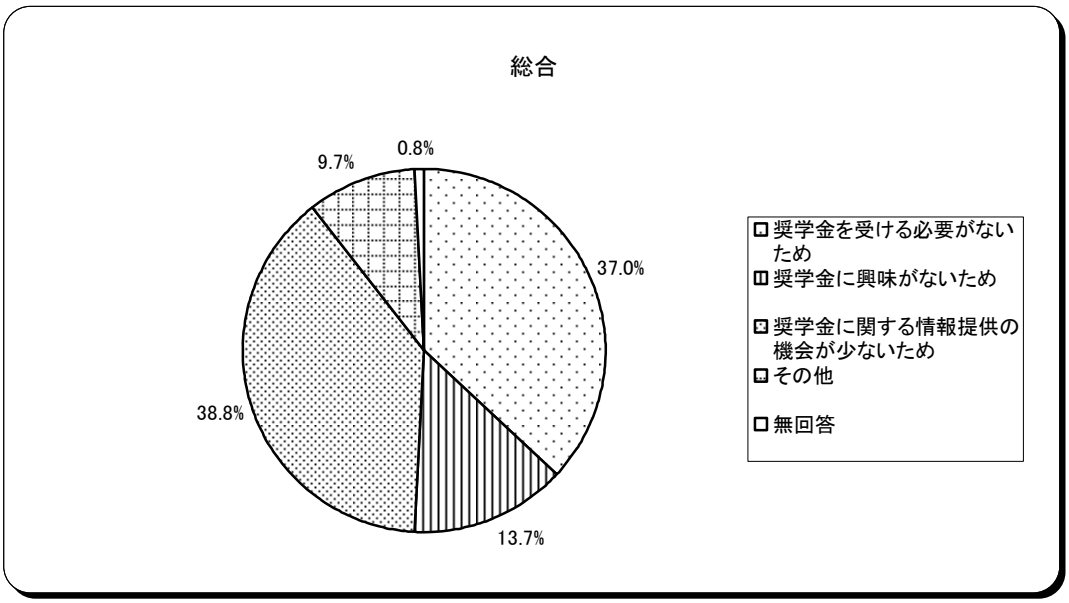
奨学金制度

問９　あなたは本学で取り扱っている奨学金制度について知っていますか？



問10　問９で「３あまり知らない」もしくは「４全く知らない」と回答した方のみうかがいます。本学の奨学金制度に関して「３あまり知らない」「４全く知らない」主な理由は何ですか？



全体の半分近くが制度を知らない

本学における奨学金制度は、平成19年度に給付及び貸与奨学金制度ともに大きく再編成した。平成18年度以前入学者と平成19年度以降入学者とでは適用される奨学金制度が違うこととなり、学生が本学の奨学金制度をどれぐらい知っているのか大変興味深い設問であった。

結果は、問9において「よく知っている」あるいは「知っている」と答えた人の割合が55.8％となり過半数を超えたが、「あまり知らない」あるいは「全く知らない」と答えた人の割合も43.7％であった。問10の結果と考え合わせると、奨学金を受給していない学生は、ほぼ奨学金のシステムについては、理解していないという結果が出た。

問10において「奨学金に関する情報提供の機会が少ないため」と答えた人の割合は38.8％であるため、情報提供の機会が少なかったために奨学金制度を知らない人は、学生全体の約17％に及ぶこととなる。

学生への各種情報提供のメインツールとして、「インフォメーションシステム」が機能しているが、各種情報は毎日累加されるため、情報の管理は簡単ではない。インフォメーションシステムの個人画面上で簡易にメール配信サービスの登録ができるが、少なくともこの機能を活用願いたい。また、学生生活課でもさまざまな機会を通じてメール配信サービス登録を呼びかけている。

加えて、今後は奨学金情報の提供を拡大する必要があるものと思われる。ひとつは「説明会」の開催による情報提供の機会を増大することが考えられる。また、正門、凜風館前の掲示板に願書配布期間や出願期間の周知を行うことなども徹底したい。